

京都大学 構造材料元素戦略研究拠点 転位・第一原理計算セミナー

共催：日本金属学会 プラστοンに基づく変形現象研究会

近年、計算機と計算技術の進歩により、大規模な第一原理計算に基づいて金属結晶中の転位芯構造や不純物との相互作用エネルギーなどを定量的に評価することが可能になりつつある。本セミナーでは、この分野で世界を先導しているわが国の2名の研究者を招き、計算の現状について理解を深めるとともに、実験的知見と理論計算結果とを対応させて活発な議論を行う。

日時

平成26年4月21日(月) 13:00~17:10

会場

京都大学吉田キャンパス 物理系校舎 3階 316 セミナー室

申込み・問い合わせ先

admin@esism.kyoto-u.ac.jp

プログラム

講演

13:00~15:00 板倉 充洋 (日本原子力研究開発機構)
「転位の第一原理計算における計算テクニック」

休憩

15:20~16:20 譯田 真人 (大阪大学)
「電子・原子論に基づく Fe-Si 合金の転位解析と降伏応力の評価」

16:20~17:10 ディスカッション



京大吉田キャンパス構内マップ